

アジア・太平洋地域渡り性水鳥保全戦略について

1. 背景

アジア・太平洋地域における渡り性水鳥保全のための国際協力の枠組みの構築を目的として、1996年に日本環境庁（現環境省）及び豪州環境庁（現環境・遺産省）のイニシアティブのもと、国際湿地保全連合により「アジア・太平洋地域渡り性水鳥保全戦略：1996-2000」がとりまとめられた。

2. 戦略の概要

同戦略は、アジア太平洋地域において、NGOと政府機関双方の協力によって、渡り性水鳥とその生息地の長期的な保全を図ることを目的としており、普及啓発、調査モニタリング、重要生息地ネットワークの構築、各湿地における保全活動等、優先度の高い活動計画が示された。

同戦略のもとで、シギ・チドリ類、ツル類、ガンカモ類の3種群について、保全行動計画の策定及び重要生息地ネットワークの構築が行われ、それぞれのネットワークにおいて、相互交流、研修、情報交換、環境教育、調査研究等の活動が行われている。

また、ラムサール条約第6～8回締約国会議において、同戦略の推進を求める決議が採択されている。

3. 第 期戦略（2001-2005）の概要

2000年に沖縄県那覇市及び豊見城村で開催された国際ワークショップにおいて、「第 期アジア・太平洋地域渡り性水鳥保全戦略：2001-2005」が合意された。

第 期戦略では、重要生息地ネットワークの活動をさらに発展させるとともに、新たにクロツラヘラサギ、ズグロカモメ等の世界的に絶滅のおそれのある種について保全行動計画を進めること、また中央アジア・インド地域のフライウェイについても保全行動計画の策定及びネットワークの構築に向けた取組を進めることとしている。

4. 戦略の仕組み

同戦略は、地域の各国政府機関、ラムサール条約及びボン条約の事務局、バードライフ・インターナショナル等の国際NGOの代表などから構成される「渡り性水鳥保全委員会（MWCC）」により、全体調整が行われている。

また、各ネットワーク活動は、日本国環境省及び豪州環境・遺産省の資金的支援により推進されている。特にツル類及びガンカモ類のネットワークについては日本が支援し、シギ・チドリ類のネットワークについては豪州が支援している。

5 . 2005年以降の戦略

2002年に開催されたヨハネスブルグ・サミット（WSSD）に際して、日本および豪州政府、国際湿地保全連合により、タイプ2・パートナーシップ・イニシアティブとして、渡り鳥生息地の保全に関するプロジェクトを登録した（別紙参照）。

第 期戦略が2005年で終了することに伴い、当該地域の渡り鳥保全の取り組みをさらに強化するため、このWSSDパートナーシップ・イニシアティブの枠組みを活用することが議論されている。ミレニアム開発目標の達成に資する活動として位置づけ、各国政府を始めとする関係主体の参加を促進するとともに、渡り鳥の生息地に関する国際的なネットワークを拡充し、その持続可能な利用を図っていく予定。

(別紙)

WSSDタイプ2パートナーシップ・イニシアティブ 東アジア～オーストラリア地域における渡り鳥生息地の保全

1 目的

東アジア・東南アジア及びオーストラリア地域において、渡り鳥の保全のための国際的協力の枠組みを提供。

2 内容

東アジア、東南アジア、オーストラリア地域各国政府の参加を得て、シギ・チドリ類、ツル類、ガンカモ類の3種群の渡り鳥の生息地に関する国際的なネットワークを構築、拡充する。特に各国におけるネットワーク参加地の管理者、地域社会の情報交換、能力養成、研修活動等を促進する。

今後、国際的に重要な渡り鳥の生息地のうち25%をネットワークに参加させることを目標とする。

政府組織のみではなく、国際湿地保全連合をはじめとする国際・国内NGO、研究者等との連携協力のもとに実施する。

3 パートナー

豪州環境遺産省

日本国環境省

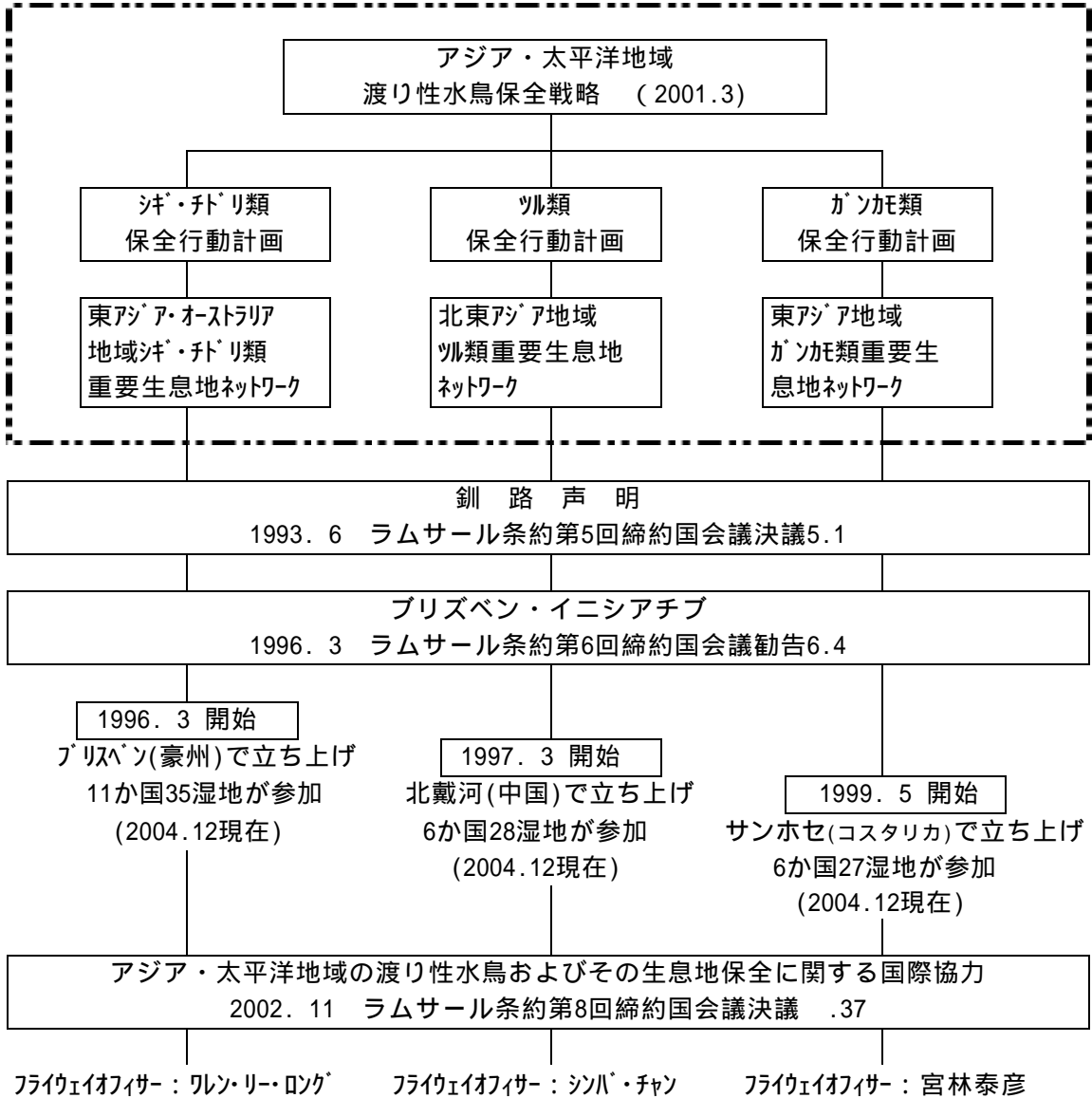
国際湿地保全連合(WI)

(参考)タイプ2パートナーシップ・イニシアティブ

2002年8・9月に開催されたヨハネスブルク・サミット(WSSD)において作成され、各国、各界関係主体による自主的かつ具体的なイニシアティブの提案・表明を記載した文書。すべての国の合意を必要とせず、各国あるいは主体が表明したプロジェクトを掲載することとなっており、合意文書とはタイプが異なるという意味で「タイプ2」と呼ばれている。

日本は合計30のプロジェクトを登録した。

アジア・太平洋地域渡り性水鳥保全戦略 概念図



日本の参加湿地

1. 谷津干潟 (千葉県)
2. 吉野川河口 (徳島県)
3. 漫湖 (沖縄県)
4. 東京港野鳥公園 (東京都)
5. 鹿島新籠 (佐賀県)
6. 大阪南港 (大阪府)
7. 球磨川河口 (熊本県)
7. 藤前干潟 (愛知県)

日本の参加湿地

1. 霧多布湿原 (北海道)
2. 厚岸湖・別寒辺牛湿原 (北海道)
3. 釧路湿原 (北海道)
4. 八代 (山口県)
5. 出水・高尾野 (鹿児島県)

日本の参加湿地

1. クッチャ口湖 (北海道)
2. 琵琶瀬湾 (北海道)
3. 厚岸湖・別寒辺牛湿原 (北海道)
4. 釧路湿原 (北海道)
5. 宮島沼 (宮城県)
6. 蕪栗沼 (宮城県)
7. 白石川 (宮城県)
8. 小友沼 (秋田県)
9. 瓢湖水きん公園 (新潟県)
10. 福島潟 (新潟県)
11. 佐潟 (新潟県)
12. 片野鴨池 (石川県)
13. 琵琶湖 (滋賀県)
14. 米子水鳥公園 (鳥取県)
15. ウトナイ湖 (北海道)